2025年10月1日

心房細動および下大静脈三尖弁輪峡部依存性心房粗動に対するカテーテルアブレーションを受けられた患者様へ

当院では、心房細動および下大静脈三尖弁輪峡部依存性心房粗動に対するカテーテルアブレーションにかかわる臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をもとに行われるものです。この案内をお読みになり、自身がこの研究の対象にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「自身の情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の担当者までご連絡ください。

【対象】
2024年11月から2025年10月までに当院で心房細動に対するパルスフィールドアブレーションおよび下大静脈三尖弁輪峡部に対する高周波アブレーションまたはパルスフィールドアブレーションを受けられた患者様

【研究課題名】
下大静脈三尖弁輪峡部に対するパルスフィールドアブレーションの有効性および安全性に関する後ろ向き観察研究

【研究責任者】
群馬県立心臓血管センター　循環器内科第二部長　中村紘規

【研究の目的】
2024年国内に導入されたパルスフィールドアブレーションは、従来の高周波あるいは冷凍凝固を用いたアブレーションと同等の有効性と高い安全性が報告され、パルスフィールドアブレーションは心房細動に対するカテーテル治療の主流となりつつあります。心房細動と下大静脈三尖弁輪峡部に関連した心房性不整脈（通常型心房粗動など）の両方をお持ちの患者様は少なくなく、しばしば心房細動と下大静脈三尖弁輪峡部のカテーテルアブレーションは同時に行われます。現在のところ、下大静脈三尖弁輪峡部に対するパルスフィールドアブレーションの有効性および安全性に関する報告は限られています。本研究の目的は、下大静脈三尖弁輪峡部に対するパルスフィールドアブレーションの有効

性および安全性を明らかにすることです。

【利用するカルテ情報、資料】
年齢、性別、身長、体重、血液検査、心電図、超音波検査、CT 検査、MRI 検査の結果、薬物治療の内容とカテーテルアブレーションの術中データを使用します。

【研究期間】
研究機関の長による実施許可日から 2027 年 3 月まで

【個人情報の取り扱い】
登録されたデータには、お名前、住所などの個人を特定できる情報は削除し、新たにつけた番号にもとづいて解析を行います。研究の結果を学会や学術雑誌に公表する場合は、個人が特定できないような形で使用いたします。

【問い合わせ先】
群馬県立心臓血管センター　循環器内科
　担当医師　中村紘規　電話　027-269-7455（代表）